

保護者のみなさま

学校評価アンケートの結果について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

昨年12月にご協力いただいた学校評価アンケートの実施におきましては、多くのご回答をいただき、心より感謝申し上げます。今回のアンケートの保護者回答率は51%となりました。昨年の68%から17%も下がりました。誠に残念な結果ではありますが、真摯に受け取め、今後多くの保護者の皆様にご協力いただけるよう工夫してまいります。

学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、ご報告いたします。この結果をこれからの学校教育活動に生かしていきたいと考えています。なお、この結果をもとに、1月20日の学校運営協議会（コミュニティスクール）で委員の方からもご意見をいただいております。

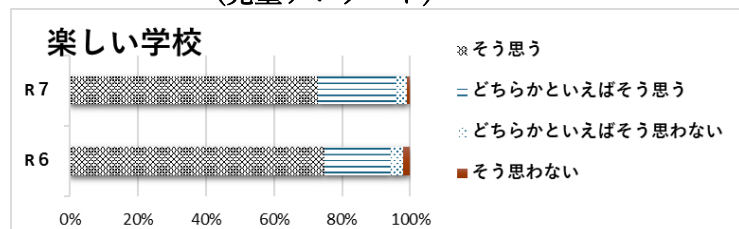
【学校全体として】

《 設問 1 》

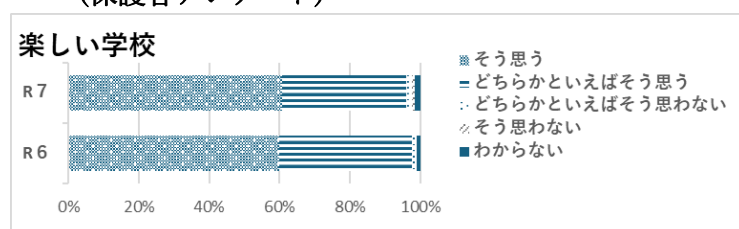
子供達は、学校生活を楽しんでいると思いますか。

（児童：学校は楽しいですか。）

《 結果 》 （児童アンケート）



（保護者アンケート）



《 結果について 》

児童、保護者共に96%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答していました。高い評価をいただき教職員一同嬉しく思います。児童からは、「挨拶が学校中に響いている。」「授業が分かりやすい。」「ふれあいまつりなどの楽しい行事がある。」等の意見があり、保護者の方からのご意見では「子供達が元気に挨拶ができる。」「学校全体が穏やかでアットホームな雰囲気。」などが挙げられていました。また、児童では「どちらかというと思わない。」「そう思わない。」と答えた児童が昨年の5.6%から3.9%と約1.7%減少しました。これは、10人前後の児童が肯定意見になったとも考えられます。引き続き、個に応じた支援を丁寧に行っていくとともに、児童にとって学校が楽しい場所となるよう、学校全体として取り組んでいきたいと思っております。

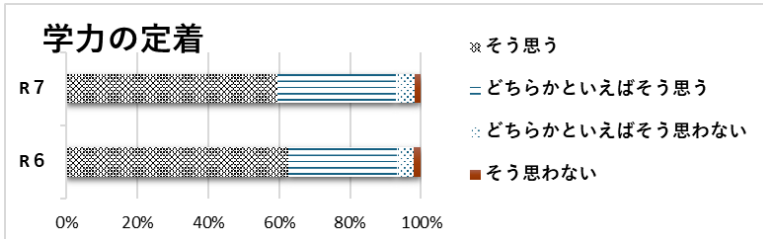
【確かな学力の育成】

《 設問 2 》

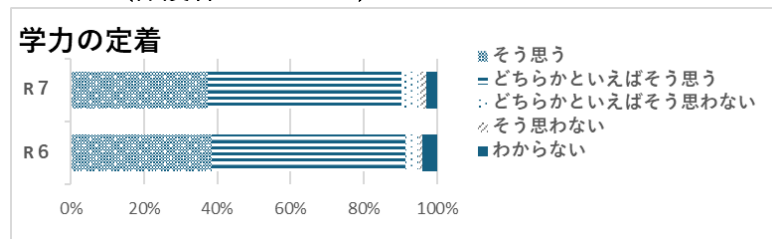
学校では、一人一人の基礎・基本の定着をめざし、少人数授業、個別支援（入り込み・取り出し）指導、GIGA 端末の効果的な活用など工夫して取り組んでいます。こうした取り組みは、子供達の基礎学力の定着につながっていると思いますか。

（児童：学校の勉強で、「わかった」「できた」「またやりたい」と思うことがありますか。）

《 結果 》（児童アンケート）



（保護者アンケート）



《 結果について 》

昨年度同様、児童・保護者ともにほぼ9割が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。児童からは、「べんきょうがたのしい。」「先生がやさしくおしえてくれる。」「先生が面白く楽しく授業してくれる。」等、数多くの前向きな回答が挙げられていました。一方、「そう思わない」「どちらかというところ、そう思わない」と回答した児童も7%弱おりました。今後も実態を踏まえ日々の授業・教材研究を通して、子供達が学びを実感できる「わかる授業」を目指していきます。また、「わからない」と回答した保護者が一昨年度の6.6%から昨年度4.1%になり、今年は2.8%となりました。

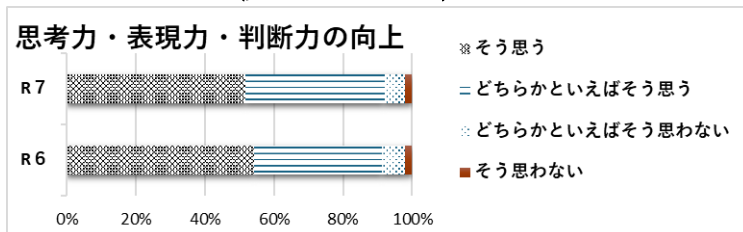
家庭でも子供達の学習の様子を見てくださっている証拠だと思います。今後も引き続き家庭と連携を取りながら学力の定着を目指していきます。

《 設問 3 》

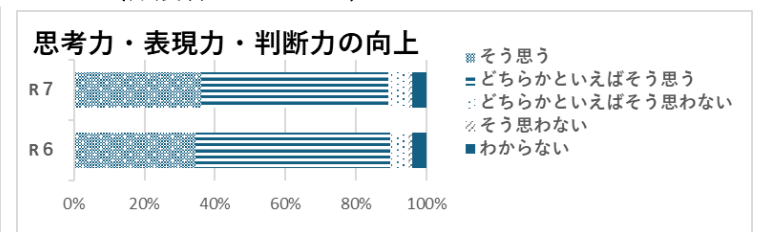
子供達はいろいろな方法で考えたり問題を解いたりする力や話を聞いたり分かりやすく話したりする力（表現力・思考力・判断力等）が育ってきていると思いますか。

（児童：いろいろな問題を考える力や話をしっかり聞いたり、分かりやすく話したりする力がついていますか。）

《 結果 》（児童アンケート）



（保護者アンケート）



《 結果について 》

児童、保護者共に9割以上が「そう思う」「どちらかというところ、そう思う」と答えています。片平小学校では昨年度までは国語の研究を行っていましたが、今年度からは算数の研究を行ってしています。国語で学んだことを生かしながら、算数を中心に思考力・表現力・判断力の向上につながる授業づくりを行ってきました。引き続き、知識・技能を活用しながら思考力・表現力・判断力を育てていきます。

【子供と共に築く学校】

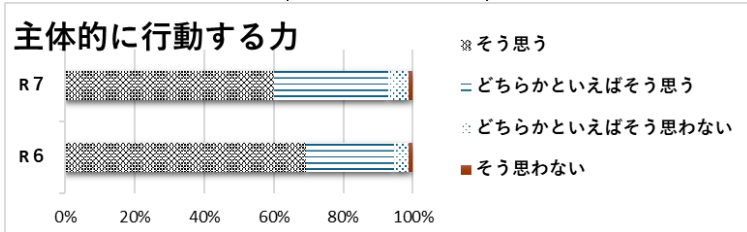
《 設問 4 》

学校では、係活動・実行委員活動・委員会活動等、一人一人が活躍できる場をつくることを心がけています。子供達は、活動を通して、主体的に行動する力が育ってきていると思いますか。

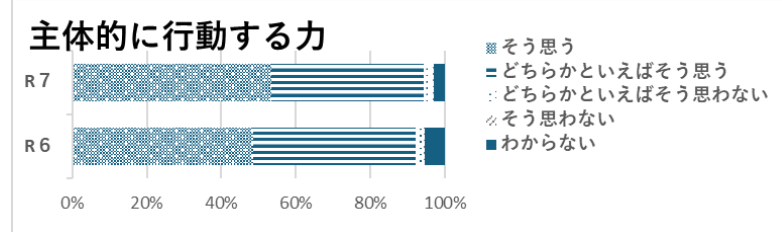
(児童：係活動、実行委員活動、委員会活動などで、進んで行動していますか。)

《 結果 》

(児童アンケート)



(保護者アンケート)



《 結果について 》

本校教育目標のキーワードの一つである「主体性」に関わる内容となります。保護者では「そう思う」「どちらかというところ思う」の回答が94%以上と高い評価をいただきました。児童の回答は約93%でしたが昨年より2%の減でした。昨年度は40周年関連の行事があり、例年より児童が主体的に取り組む機会が多かったことも影響しているかもしれません。行事だけでなく、普段の学校生活から児童が自ら考えて行動できているという自信がもてるように取り組んでいきたいと思ひます。

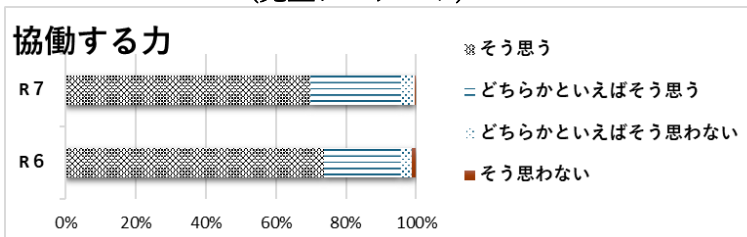
《 設問 5 》

学校では、同学年の友達や他学年との多様な関わりの機会を設定し、協力することのよさを実感できるよう取り組んでいます。こうした取り組みは、子供達の協働する力を育むことにつながっていると思いますか。

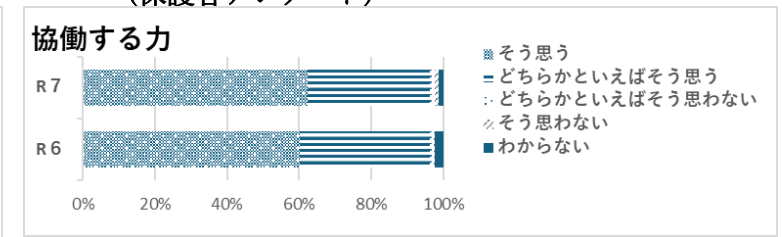
(児童：係・実行委員・委員会等の活動をいろいろな友達と協力しながら行っていますか。)

《 結果 》

(児童アンケート)



(保護者アンケート)



《 結果について 》

本校教育目標のキーワードの一つである「協働」に関わる内容となります。児童及び保護者の95%以上が「そう思う」「どちらかというところ思う」と評価しており、昨年度と同様に児童・保護者とも高い評価となっていました。記述の回答にも、「高学年がやさしくおしえたりたすけてくれるところ。」「たてのつながりを意識して運動会を行ったから仲良くなれた」「片平小学校のことを良くしようと思ってみんなで協力して学校を作り上げている。」(以上、児童)、「1年生の時からクラスのお友達がいろいろな場面で手伝ってくれる」「みんなで協力して行事の準備を行い、本番にはみんなで思い切り楽しもうという雰囲気がある。」「目標に向かってみんなで協力して一生懸命に頑張っているところが素敵だと思います。」(以上、保護者)等、児童・保護者とも「協働」に関わる児童の様子や学校の取り組みへの意見が昨年度に引き続き多く寄せられていました。今後も、学校全体の取り組みとして、子供一人一人が活躍し、共に力を合わせて活動できる場や機会を意図的・計画的につくっていく中で、「片平小のよさ」である子供達の「協働する力」を育んでいきたいと思ひます。

【豊かな心の育成】

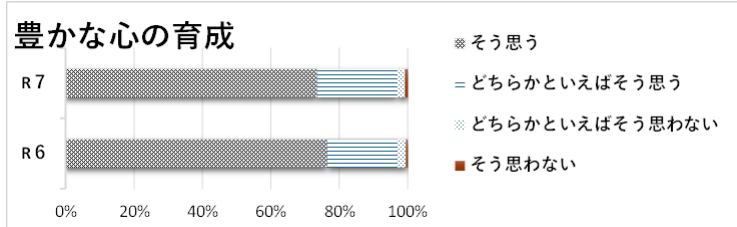
《 設問 6 》

学校では、いじめや仲間外れの無い温かな学校を実現するために、命を大切に、人を思いやる心を育てる指導を心がけています。子供達は自分や相手を大切に思う心が育っていると思いますか。

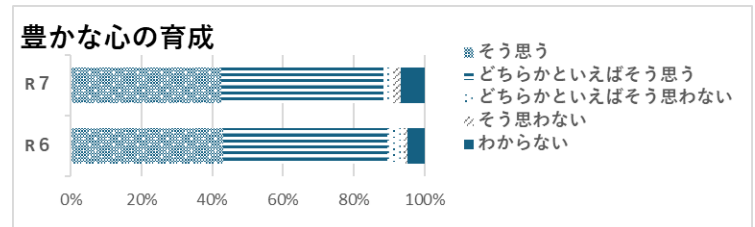
(児童：自分や相手のことを大切に思い、なかよく助け合おうとしていますか。)

《 結果 》

(児童アンケート)



(保護者アンケート)



《 結果について 》

昨年度と同様に96%以上の児童が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」とアンケートの質問項目の中でもとても高い評価になりました。「みんなやさしい」「みんなが助け合って生活している」「縦と横のつながりを大切にしているので、学校生活の中で他学年と協力することがよくあります。それから、友達も増えるので、楽しく協力して過ごせます。」などの意見がありました。一方保護者の方の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答は、87%でした。児童と保護者では10%近くの差が見られました。保護者の方にとっては、まだまだ未熟な部分が見えている結果だと思います。引き続き、この片平小児童のよさを大切にしつつ、学校全体で子供達に関わる情報を共有しながら、子供一人一人を見守り、道徳や共生共育プログラムをはじめ、日々の様々な教育活動を通して子供達の心を育てていきたいと思えます。また保護者の方とも情報を共有しながら、子供達の成長のために協力していけたらと思っています。

【健やかな心身の育成】

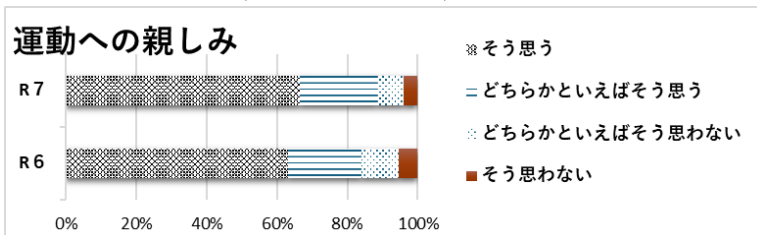
《 設問 7 》

子供達は体育科の学習や休み時間、校庭開放などを通して、運動を楽しもうという気持ちが育っていると思いますか。

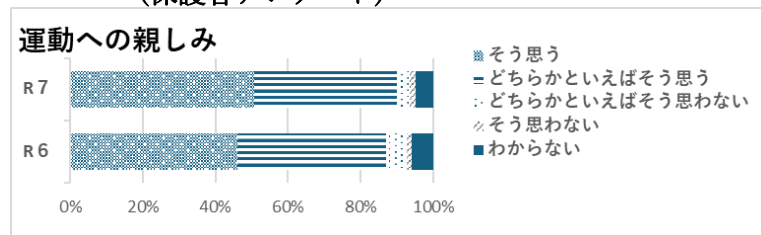
(児童：体育の授業、休み時間、校庭開放などを通して、進んで体を動かすことができますか。)

《 結果 》

(児童アンケート)



(保護者アンケート)



《 結果について 》

児童では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が昨年度の約84%から約89%と約5%ののびが見られました。学校では放課後の校庭開放の回数を大幅に増やしたり、スポーツ委員会の中休みの企画を増やしたりしながら、子供達が体を動かす機会を増やした成果だと感じます。子供達からは「もっと中休みのイベントを増やしてほしい」などの意見があり、楽しくイベントに取り組んでいる様子が分かります。今後も体育科の授業を含め、様々な活動の工夫を取り入れながら「子供達が進んで体を動かす」取り組みを進めていきたいと思ひます。

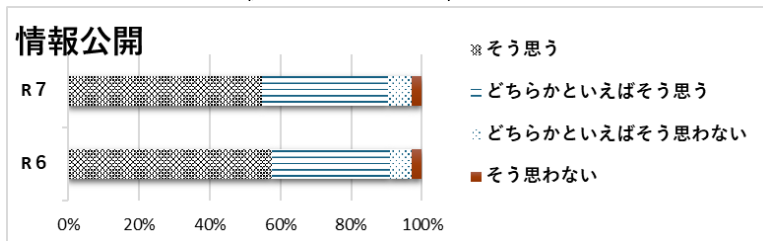
【開かれた学校づくり】

《 設問 8 》

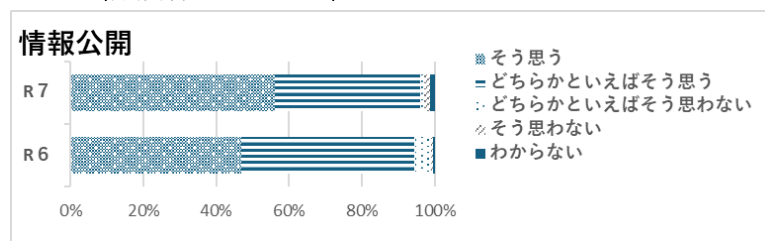
学校説明会（紙面）、個人面談、授業参観、ホームページ、各種おたより等で教育方針や子供達の様子が伝わっていますか。

（児童：学校の手紙をおうちの人にきちんと渡したり学校のお話をおうちの人にしたりしていますか。）

《 結果 》（児童アンケート）



（保護者アンケート）



《 結果について 》

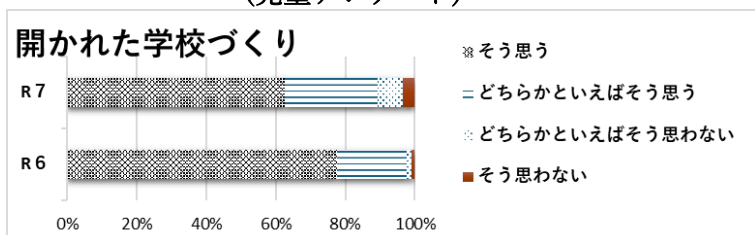
昨年度と同様、児童・保護者とも9割以上が「そう思う」と回答していました。特に、保護者は95%が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と評価しており、学校説明会、個人面談、授業参観、オープンスクール、ホームページ、また、学級・学年・学校だより等を通じた情報公開（日頃の教育活動や子供の様子）への取り組みを前向きにとらえていただき有難く思ひます。保護者の方の意見からは、「今年導入されたオープンスクールで子供達の様子や先生方の苦勞が見てとれたので、とても良い試みであった」「授業参観や音楽集会、給食試食会など保護者が学校での取り組みを知れる機会があるのがありがたい。」等、このアンケート項目に関連する肯定的な意見が数多く寄せられていました。引き続き、学校の教育方針や子供達の様子が保護者の皆様に伝わるよう努めていきたいと思ひます。

《 設問 9 》

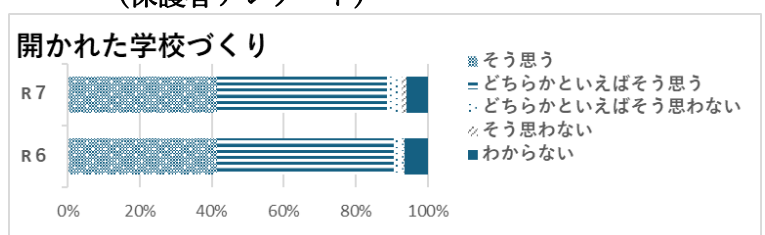
学校、保護者、地域の方々、子供達が協力し合い、思いを伝え合いながら学校づくり（教育活動）を行っていると思ひますか。

（児童：片平小学校は、学校、地域、みんなが協力し合いながら作り上げている学校だと思ひますか。）

《 結果 》（児童アンケート）



（保護者アンケート）



《 結果について 》

児童の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答は、昨年度の97%から89%へと大きく評価を落とした項目です。一概には言えませんが、昨年度は創立40周年の記念行事があったことも影響していると考えられます。児童の「片平小のよさ」に記述では、「委員会の時も、子どもたちが先導して学校について話し合えるところは素敵だと思います。」「相手のことを認めあえているところ。協力したり、助け合っているところ。気持ちの良いあいさつができるところ。」「児童が明るくて、フレンドリーなところ。片平の伝統を守ろうと心がけているところ。」という意見が多くの高学年から出るなど、子供達の中には「挨拶」「協力」「助け合い」などの意識が低学年の頃から一貫してあるように思います。今年度だけでなく今まで築き上げた伝統が少しずつ形になっているように感じます。

しかし、児童の「そう思わない」と回答した児童が2.5%増加したのも気になります。どの子も自分の意志で参加・協力し築き上げていく学校にしていきたいと思います。

また「ふれあいまつりや夏祭りなどイベントがたくさん。」「地域の人達やPTAの人たちが優しい。」「いろいろな行事があって、地域清掃など地域のためになることやふれあいまつりや夏祭りなど地域の人とも協力できる場所です。」という児童の回答にあるようにPTAの皆様や地域の方々を行う行事が楽しく、よいところにあげている児童も多くいます。児童・学校・地域が協力し合って作り上げている「地域の中の片平小」という意識を高くもっていることがわかりました。今後も地域の皆様のご協力をいただきながら、地域に根差したよりよい片平小となるよう取り組んでいきたいと思ひます。

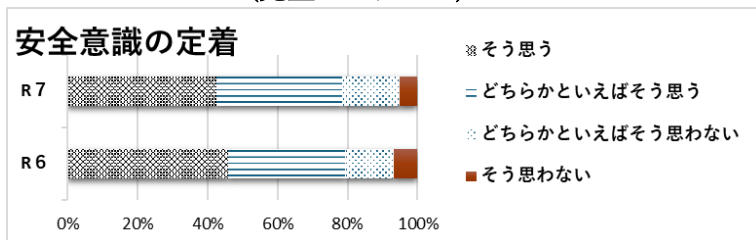
【安全・安心な学校づくり】

《 設問 10 》 左側が児童のアンケート、右側が保護者のアンケート

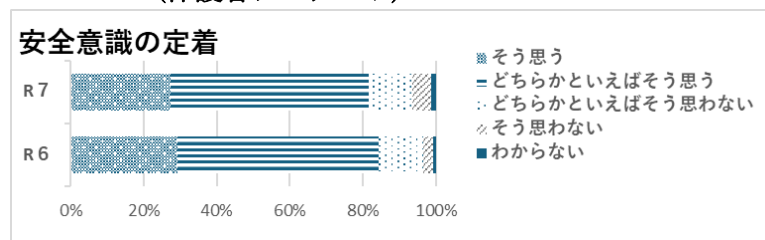
ご家庭では、災害時の過ごし方や登下校時の事故等の未然防止について話題にしていますか。

(児童：災害が起こった時の過ごし方や登下校の時のマナーについて家の人と話しをしていますか。)

《 結果 》 (児童アンケート)



(保護者アンケート)



《 結果について 》

10の質問の中で児童の回答の「そう思う」が唯一50%を切る項目です。今年度は昨年度よりさらに数値を落としてしまいました。児童に関しては、およそ2割の児童が、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答していました。

一方、保護者では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が、昨年度の84.4%から81.4%と3%下がっていました。今後も、避難訓練や交通安全教室、下校指導、全校朝会での話のみならず、日常的な指導を通して、子供達の意識向上を図っていきたく思います。また、今年度も多くの方々に子供達の登下校を見守っていただきました。保護者の皆様、地域の皆様にご感謝申し上げます。引き続きご家庭でも災害時の対処の仕方、交通ルール、登下校の仕方等についてお子様とお話しする機会を設けていただくと幸いです。ご協力をよろしくお願いいたします。

おわりに

今年度も学校評価アンケートにたくさんの保護者のみなさまのご協力をいただき、たくさんのあたたかいお言葉や励ましのお言葉を頂戴しました。私たちにとりましても、達成感や自己有用感を高めることにつながります。本当にありがとうございました。

創立50周年へ向けての新たな10年のスタートを切りました。本校の教育活動全体として、概ね肯定的な評価を頂戴し、とても励みになりました。子どもたちもとても肯定的な評価をしています。昨年度は周年行事があり、例年にはない活動や行事の構成で学校をあげて式典をはじめとする目標に向かって集中していくことができました。今年度はそれを踏まえて、学校の盛り上がりを持続していくやや難しいステージに入りました。その中でも本校の教育目標の重点としている「考えて実行する子」の育成として、学校であるからこそ可能な「協働」によって、学習活動や行事でも子どもたちの「できた」を増やしていく努力をしています。頂戴したご意見の中でも前向きにご提案いただいたことや保護者のみなさまならではの意見など、私たちも謙虚に受け止めて改善に取り組みたいと考えております。

重点の「学び続ける子」については、これまで取り組んできた国語科の授業研究を土台として、今年度は算数科の研究に取り組んでいます。子どもたちが課題に気づき、話し合い活動を通じて課題を解決していけるような算数科の授業はどのような手立てが有効なのか、様々な試行錯誤をしまいいりました。まだ、具体的な成果や課題が明確に見えてきているわけではありませんが、共に学んで理解を深めていける子の育成を目指して引き続き努力をしていきます。

もう一つの重点「やさしくたくましい子」については、子どもたちと保護者のみなさまの評価が最も大きな差があった項目です。学校でがんばっている分、家では甘えの顔が見えてしまっているのかもしれませんが、学校での活動についての広報が足りなかったのかもしれませんが。子どもたちの「やりたい」という声を生かしながら、体を動かすイベントも委員会活動を中心に活発にしていきたいと思っております。その様子などをお知らせしていけるようにしたいと思います。

今後とも子どもが中心にいる学校、子どもがのびのびすごせる学校となるように、今回のアンケート結果やご意見を真摯に受けとめて活動をしていきます。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

校長 朝比奈 浩